

平成30年第1回臨時会

歌志内市議会会議録

第1日目（平成30年2月2日）

（午前9時54分 開会）

開会・開議宣告

○議長（川野敏夫君） おはようございます。

ただいまから、平成30年歌志内市議会第1回臨時会を開会いたします。

ただいま出席している議員は8名であります。定足数を満たしておりますので、これより本日の会議を開きます。

会議録署名議員の指名

○議長（川野敏夫君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第84条の規定により、会議録署名議員に3番山崎瑞紀さん、4番下山則義さんを指名いたします。

会期の決定

○議長（川野敏夫君） 日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

この臨時会は、本日1日間とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川野敏夫君） 御異議ありませんので、そのように決定いたしました。

諸般報告

○議長（川野敏夫君） 日程第3 諸般報告であります。

事務局長から報告いたします。

中嶋議会事務局長。

○議会事務局長（中嶋孝君） 報告いたします。

この臨時会に付議されます議案は、市長より送付を受けた議案1件であります。

次に、議長の報告でございますが、平成29年第4回定例会以降、昨日までの議会動向につきましては、本日別紙配付しております諸般報告のとおりでありますので、御了承願います。

また、本会議に説明のため出席する者、本会議の事務に従事する者等につきましては、別記記載のとおりであります。

本日の議事日程については、別紙配付してあります議事日程表のとおりであります。
次に、議員の出欠席の状況であります。本日は全員の出席であります。
以上で、報告を終わります。

○議長（川野敏夫君） 特段の発言はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川野敏夫君） ないようでありますので、諸般報告を終わります。

議 案 第 1 号

○議長（川野敏夫君） 日程第4 議案第1号平成29年度歌志内市一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

岩崎副市長。

○副市長（岩崎雄逸君） ー登壇ー

おはようございます。

議案第1号の一般会計補正予算につきまして御提案申し上げます。

議案第1号平成29年度歌志内市一般会計補正予算（第7号）。

平成29年度歌志内市一般会計補正予算（第7号）は、次に定めるところによる。（歳入歳出予算の補正）

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,000万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ45億5,931万9,000円とする。

2項は省略いたします。

続きまして、補正予算事項別明細書の歳出について御説明いたしますので、5ページをお開き願います。

2款総務費1項総務管理費1目一般管理費19節負担金補助及び交付金100万円の増額補正は、本市出身の石井智也氏の平昌オリンピック出場に伴う応援協賛会への補助金で、同氏が世界大会を目指すための活動費に充てられます。

8款土木費2項道路橋りょう費2目道路維持費13節委託料1,630万円の増額補正は、降雪量の増に伴う市道等の除雪委託料の増であります。

10款教育費2項小学校費1目学校管理費13節委託料17万9,000円及び3項中学校費1目学校管理費13節委託料41万3,000円並びに6項保健体育費4目学校給食費13節委託料15万7,000円の増額補正は、降雪量の増に伴う小学校、中学校及び給食センターの除雪委託料の増であります。

15款1項1目とも予備費195万1,000円の増額補正は、歳入歳出予算の調整によるものであります。

続きまして、補正予算事項別明細書の歳入について御説明いたしますので、3ページをお開き願います。

18款1項1目とも繰越金1節前年度繰越金2,000万円の増額補正は、前年度繰越金の一部を予算計上するものであります。

以上で、議案第1号の一般会計補正予算の事項別明細書を含めましての説明を終わりますので、よろしくお願いたします。

○議長（川野敏夫君） これより、質疑に入ります。

質疑ありませんか。

女鹿聡さん。

○7番(女鹿聡君) 2点ほど、ちょっとお聞きしたいと思います。

土木費の除雪の分なのですけども、今回の補正で、結構、1,600万ということですが、今までの予算の中で、今年度まだ予算が足りなくなってきた、ここが排雪できていないとか、一回もできていないとかという場所があるのであれば、ちょっと教えていただきたいと思います。

二つ目なのですけども、予算の関係上、ちょっと排雪が平年よりおこなっている場所だとかが多分あるかと思われるのですけれども、そういったときに住民に対して予算がなくてという話ではなくて、いついつ予定していたやつがいついつまでちょっとずれ込みそうなので、もう少し辛抱してくださいみたいな、町内会に頼んで回覧を回すだとか、そういった方法はとれないものかどうかというのを、ちょっとお聞きしたいと思います。

○議長(川野敏夫君) 柴田建設部長。

○建設部長(柴田一孔君) 除雪でございます。

排雪で1回も入れない場所はないかということでございますけれども、一通りは回っておりますので、一度も入っていないという場所は、今現在ありません。

それと、おこなっているということでございますけれども、住民に対して親切な、いつ入りますよという連絡体制でございますけれども、町内会長さんといろいろ連携しながらですね、ここをやってほしいとかという要望を聞いてやっているところでございます。

また、排雪場所も、この雪なものですから、あけたら二、三日後には近隣というか、地先の雪を、そこにやはりどうしても出さざるを得ないと思いますので、その繰り返しをやっているところでございます。

文珠から本町、そしてまた文珠の方をパトロールしますと、雪山になっていると、それを繰り返しながら、行っているところでございまして、また新たに、こういう場所を飛ばしてほしいとかという場所は、町内会長さんを初め、地域の方から電話をいただきますので、回覧をして、ここをいつやりますよということは、ちょっとなかなか行程が組むのが難しいかなと思いますので、町内会と連携して、今後も進めていきたいと思っております。

よろしくお願いたします。

○議長(川野敏夫君) ほかにありませんか。

下山則義さん。

○4番(下山則義君) 今、女鹿さんの方から除雪の件が出ましたので、この件につきましては結構です。

もう1点あります。一般管理費の補助金、オリンピック出場支援補助金ということで計上されているのですが、説明の中でですね、世界大会を目指す、世界の大会、そういったものを目指すための補助金なのですよというようなことで説明がありました。オリンピックも世界大会なのですが、そのほかにもさまざまな世界大会というものがあると思います。そういったことに対しても、これから歌志内市としてはそういった形で、オリンピック以外にも世界大会ということに対しては、こういった補助金ということで考えておられるということをお願いいたします。

答弁をお願いします。

○議長(川野敏夫君) 岩崎副市長。

○副市長(岩崎雄逸君) 今回の場合については50年ぶりということで、石井智也選手がオ

オリンピックに出るということで、市民の皆様が中心になって協賛会を立ち上げたということで、急遽出すことになりました。

ほかのまちを見れば、今は中学生とか、教育委員会が持っている派遣費というのがあるのですけれども、やはり要綱基準、世界大会レベルに出るためには、きちんとした要綱をつくって、ある程度の支援対策ということで、幾ら幾らというふうにして、規定を設けているまちもありますので、それらを参考にしながら、今後そういう世界を目指す子どもたちが出てくれば、支援をしていきたいという考えは持っております。

○議長（川野敏夫君） 下山則義さん。

○4番（下山則義君） 今までは、そういうのはなかったことですが、これからは世界を目指す、こういうふうに決定しましたという方々に対しては、しっかりとしたものを決めて、オリンピックに限らず世界の大会に行くということに対しては、きちんとした規則をつくっていく、そういうふうにしてほしいわけですね。

○議長（川野敏夫君） 岩崎副市長。

○副市長（岩崎雄逸君） 今後、世界に出ないとは限りませんので、きちんとした要綱をつくって、市民の皆様にもきちんと示せるような要綱基準をつくって、支援をしていきたいという考えで持っています。

○4番（下山則義君） わかりました。

○議長（川野敏夫君） ほかに質疑ありませんか。

谷秀紀さん。

○5番（谷秀紀君） 規則の中には関連質疑の禁止という条項がありますが、下山議員との主旨が違いますので、許可していただいて、質疑に入りたいと思います。主旨が違います。

○議長（川野敏夫君） はい、どうぞ。

○5番（谷秀紀君） 実は今、副市長の方から説明の中でですね、応援協賛会にというお話がありました。そして、続いて、世界を目指す活動費という説明がありました。

それで、一つには、使途目的に入ると思うのですが、一般的に例を挙げますと、高校野球では協賛会を立てて集めて寄附を仰ぎます。そして、協賛会は、バスの移動だとか、そういうものに充当してるように聞いております。

それで、今回、100万円の補助金でございしますが、これは協賛会に渡すとなると、先ほど説明にありました活動費、個人の活動費に渡すのかなという懸念があります。

そういったことで、今、私、質疑してるのですが、高校野球の例を見ますと、協賛金が余ったときには、後ほど野球部に清算して、寄附をしたりしていることがあります。そういうことを踏まえて、今回の補助金の100万円を本人の、やはり本当の意味で活動費になるような、御配慮をしていただきたいと、このように考えますので、このことについて答弁をしっかりといただきたいというふうに考えております。

○議長（川野敏夫君） 村上市長。

○市長（村上隆興君） 御質問のとおりだと思います。

私どもお聞きしてるのは、この後援会組織につきましても、あくまでも御本人を支援していくということで、この皆さんの善意というものについて、協賛会的な、そういうメンバーの皆さんが、それを使用するという考えはない、あくまでも石井選手に対する支援と、そういう考え方で活動しているというようにお聞きしておりますし、また、規約等も整備すると、このように承っております。

○議長（川野敏夫君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川野敏夫君） 質疑なしと認め、質疑終わります。

これより、討論に入ります。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川野敏夫君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第1号について採決をいたします。

ただいまの議案については、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川野敏夫君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第1号は、原案のとおり可決されました。

閉 会 宣 告

○議長（川野敏夫君） 以上で、本日の日程は全部終わりました。

これをもちまして、平成30年歌志内市議会第1回臨時会を閉会いたします。

大変御苦労さまでした。

（午前10時10分 閉会）

上記会議の顛末を記録し、その相違ないことを証するため、
ここに署名する。

歌志内市議会議長 川 野 敏 夫

署名議員 山 崎 瑞 紀

署名議員 下 山 則 義